

『本宮砂防堰堤を語る会』を開催！



本宮砂防堰堤は、昭和12年（1937年）3月に完成し、80年を迎えます。そこで、富山県が立山砂防の歴史的施設の世界遺産登録を目指して取り組んでいる中で、改めて「本宮砂防堰堤」の価値について、地域の方々と共に知り、触れ合ってもらい、認識を高めてもらうことを目的として、開催しました。

『本宮砂防堰堤を語る会』～地域の皆さんと共に80年～

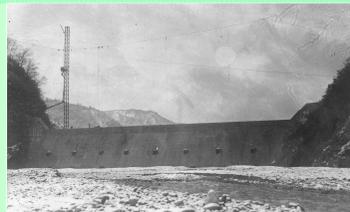
日時：平成28年11月27日（日） 15:00～16:30
場所：富山市小見 小見地区コミュニティセンター 多目的ホール
参加数：約70名
主催：人・川ふれあい連絡会

講演内容

- 「女性の目から見た海外の災害現場
～スリランカの土砂災害地を訪ねて」
立山砂防女性サロンの会会長（富山国際大学教授） 尾畑 納子 氏
- 「常願寺川と立山カルデラをたどる」
富山県知事政策局参事 松島 吉信 氏
- 「本宮砂防堰堤の思い出」
芦峯寺前総代 佐伯 信春 氏
- 「本宮砂防堰堤は凄い！！」
小見地区自治振興会会長 山森 潔 氏



施工中の本宮砂防堰堤(昭和10年)



完成した本宮砂防堰堤(昭和12年)



現在の本宮砂防堰堤



開会・挨拶

高橋氏(司会) 大坂 事務所長



講演者の方々

尾畑 納子氏 松島 吉信氏
佐伯 信春氏 山森 潔氏



会場の様子



講演の様子

講演概要

尾畑氏：2016年5月に発生した土砂災害地アラヤナケ（スリランカ）の視察や現地で活躍する女性たちとの交流を紹介。その模様はスリランカのTVニュースで放映されました。

松島氏：常願寺川とその沿川の歴史と文化、立山カルデラ帯の歴史的砂防施設群を説明。明治期に熊本出身でありながら富山県の治水に尽力した高田雪太郎氏の功績などを紹介。

佐伯氏：本宮砂防堰堤とともに育った。子供の頃に水の中にかくれんぼしたり魚を捕まえた思い出や、本宮砂防堰堤のおかげで芦峯寺地区の地すべりが止まった話などを自称芦峯弁で語られました。

山森氏：本宮砂防堰堤の美しさ、堰堤建設の経緯、堰堤建設の記録など、貴重な写真や資料を交えてお話し頂きました。堰堤に使われている「間知石」についての説明等もありました。



パネル展示(立山砂防事務所)